

【部会・分科会活動報告】 2015年11,12月度

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>1) 食品微生物研究部会共催講演会 ICMSF ワークショップ「食品微生物の検査データと活用」 11/14～15 於 赤坂溜池ホール 参加人数 81名</p> <p>2) 部会全体会議 11/27 13:00～15:00 於 東海大学海洋学部 3208 教室 11/28 10:00～12:00 於 三保園ホテル会議室</p> <p>1) 各分科会の活動報告 (MALDI-TOF/MS 分科会、芽胞菌分科会、ICMSF ワークショップ)</p> <p>2) 2015 年度活動・収支報告</p> <p>3) 次期部会長団決議</p> <p>4) 2016 年度活動について議論</p> <p>3) 勉強会 11/27 15:00～17:00 研究活動の紹介 21名参加 講師 東海大学教授 後藤慶一先生</p> <p>4) MALDI-TOF MS 分科会 12/19 Pacifichem (環太平洋国際化学会議) 2015 にて発表 「Expansion of MALDI-TOF MS database for spoilage microorganisms in food and beverage industry.」</p> <p>5) 芽胞菌分科会 11/5 第 64 回缶詰技術大会にて発表 「清涼飲料原料の高温性嫌気性芽胞細菌標準検査法の開発」</p>
	食品リスク研究部会	<p>1. MOE/TTC ワーキンググループ：11/10 TTC 講演会事前勉強会 於サントリーワールドリサーチセンター</p> <p>2. 部会 12/7 13:30-14:30 於 ILSI 事務局 ・ 今後の活動について</p> <p>3. 勉強会 12/7 15:00-17:00 於 ILSI 事務局 演題：TTC の基本的な概念と適用事例について 講師：国立医薬品食品衛生研究所・広瀬明彦 先生 参加 19名</p>
	香料研究部会	
	食品安全調査研究部会	
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 研 究 会	植物研究部会	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
	環境リスク評価分科会	ERA プロジェクト調査報告第 24 号 (OCT2015) 11/18 発刊。 ERA プロジェクト調査報告第 25 号 (JAN2016) 1/14 発刊予定 バイオテクノロジー研究会のホームページに新しく「作物データベース」の項目を追加
	アレルギー性タンパク質の分析方法分科会	特になし
	組換え体検知法分科会	<p>11月20日 検知法の国際ワークショップ報告会 場所：アーバンネット神田カンファレンス 3B 時間：15:30-17:00 懇親会 17:30～ 講師：食品総合研究所 橘田先生、国立医薬品食品衛生研究所 近藤先生 約 30名の参加があり、検知法に関して意見交換が行われ、現状についての理解が高まった。</p>

	バイオテクノロジー研究会全体	<p>部会開催（11月20日）</p> <ul style="list-style-type: none"> －ERA 調査報告書第25号勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 林先生の文献のコピーはコピーライトの問題があるため ILSI 事務局で国会図書館などから文献コピーを入手する方法に変更。 －9月28日のゲノム編集ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ➢ ILSI 誌でのワークショップの報告を各講師、モデレーターに要旨を書いて頂き、12月4日までに前書きを付けて提出。 －検知法の国際ワークショップ報告会 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ILSI 誌への寄稿を近藤先生にお願いする。 －ILSI CERA ワークショップ開催について <ul style="list-style-type: none"> ➢ 目的：交雑種のない作物の ERA のエンドポイントとその為の評価項目に関する合意を得、それらの項目に関するデータトランスポータビリティーや作用機作の情報の必要性について合意を得る。 ➢ 時期：来年4-5月で2日間。 ➢ 1日目はオープンなワークショップ、2日目は有識者とのクローズドなワークショップ。 －作物データベースの ILSI HP への掲載 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 非組換えワタの越冬性に関するデータの掲載を12月末までに行う。英語版も作成する。 ➢ ダイズについても大澤先生と相談の上、掲載の予定。今後は作物を拡げていく。
栄養健康研究会	栄養研究部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第5回部会会議（11月30日、於 ILSI 会議室、11名）、議題：第7回栄養とエイジング国際会議反省会、部会長会議報告、今後の活動について。 2. 「第7回栄養とエイジング国際会議」のフラッシュレポート提出 3. メタボリックシンドロームと認知機能障害 WG; ミトコンドリア機能に関する勉強会のフラッシュレポート提出
GR	プロジェクト	GR 法プロトコール改善のための検討
	茶類研究部会・茶情報分科会	<p>12月11日、第38回茶情報分科会を開催。</p> <p>茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの成果発信について進捗確認を行った。</p> <p>現行テーマである茶成分データベース拡張の収束に向けての進め方の確認と新たに取り組むテーマ案について意見交換を行った。</p>
食品機能性研究会	食品機能性研究部会	特になし
	脳機能分科会	特になし
	免疫能分科会	特になし
	ロコモ分科会	特になし
	寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」	<p>第III期寄付講座（2013年12月開始、5年間）研究進行中。</p> <p>第II期寄付講座の成果報告ならびに第III期の中間報告会を12月1日に開催。</p>
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>11/5, 10, 11, 12, 13, 24, 25, 27 「第11期 すみだテイクテン本教室」(墨田区4会場)</p> <p>11/9, 18, 20 「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区4会場)</p>

	<p>11/4~6 第74回日本公衆衛生学会総会 ポスター発表「中山間地域における移動販売を活用した介護予防促進・見守り体制の構築」(長崎ブリックセンター・長崎市)</p> <p>11/9 墨田区介護予防サポーター養成講座(講師:木村美佳、墨田区役所)</p> <p>11/20 テイクテンサポーター講習会(講師:木村美佳)</p> <p>11/24 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」(講師:木村美佳、篠崎文化プラザ・東京都江戸川区)</p> <p>12/8, 9, 11, 16, 22「第11期 すみだテイクテン本教室」(墨田区4会場)</p> <p>12/1, 2, 7, 18「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区4会場)</p> <p>12/4 テイクテンサポーター講習会(講師:木村美佳)</p> <p>12/14-15 震災被災地支援:いしのまきテイクテン(講師:木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、本地地区集会所、北上町大須生活改善センター)</p>
Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	<p>11/23, 24, 25, 27 「ベトナム農村地域における母親の離乳食作り支援事業」活動モニタリング(高梨、タイグエン省・バクザン省、ベトナム)</p> <p>11~12月 地域ヘルスワーカーによる料理教室、栄養・食品衛生教育、栄養不良児の母親を対象とした栄養カウンセリング(タイグエン省・バクザン省、ベトナム)</p> <p>12月 WHO, UNICEF, USAID 共同出版による“Improving nutrition outcomes with better water, sanitation and hygiene: Practical solutions for policies and programmes”に、住民参加アプローチの好事例として、ベトナムにおけるSWAN1-2の取り組みが紹介された。</p>
Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	11/4 官民連携を通じた 途上国の栄養改善事業支援セミナー(栄養改善事業支援プラットフォーム準備作業グループ主催)出席
CHP 全体	12月 ニュースレター(日本語版)発行(No.22)
国際協力委員会	<p>第7回 BeSeTo 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/10-11 済州島(韓国) <ul style="list-style-type: none"> - 食品安全:韓国、中国、台湾から発表、日本からのプレゼンは無 - リスク評価:中国から RTE 食品中のリステリアについて、日本における砒素の管理(ネスレ高橋氏)、韓国から食品中の砒素について発表 - 規制問題:機能性表示食品制度等(浜野氏)、添加物の認可状況(味の素小野氏)、HACCP(ヤクルト土屋氏)。他に中国、韓国、台湾から発表 - 支部間協力:農水省プロジェクトについて(浜野氏)、「栄養とエイジング」国際会議報告(山口氏) ・ 「イルシー」誌の報告記事は長瀬産業滑川氏が執筆 ・ 来年は中国(おそらく北京)で9月頃開催される予定 <p>12月3日(木) 15:00-16:20 第7回委員会会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ILSI Japan 会議室 参加者16名 ・ 農水省プロジェクト H27 年度調査について <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジル、中国、インド:調査資料(英語)が到着 ・ 台湾、香港:近日到着予定

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国、UAE、東南アジア：年内に到着予定 ・ 順次、和訳（外注）を行い、編集作業は年明けに開始 <p>ワークショップ (Food safety and standards) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月15日(火) 09:00-17:00 (Hilton Hanoi Opera) 高橋氏(ネスレ)が砒素、浜野氏が機能性表示、五十嵐氏(食品分析センター)が栄養機能食品成分の分析について発表 <p>次回は、1/19(火) 15:00-17:00(事務局会議室)</p>
情報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催2回(11月、12月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新(随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 24巻1号(通巻90号) : 編集(11/10発刊) ・ 24巻2号(通巻91号) : 翻訳、監修、編集(2/10発刊予定) ・ 11/25編集委員会(通巻92号採択論文決定)
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「イルシー」誌124号、発行 ・ 「イルシー」誌125号、原稿査読・編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>第4回理事会を平成27年12月4日10時より開催した。</p> <p>○審議事項： 議案1. 本部理事の交代について 現理事 桑田有氏の後任本部理事候補及び拡大執行役員候補として宮澤陽夫氏(東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)「戦略的食品バイオ未来技術構築」プロジェクトリーダー・教授)が提案され異議なく承認された。</p> <p>○報告事項 山口事務局長が資料に基づき下記内容を報告した。</p> <p>(1) 本部関係 (1)-1) 本部総会関係スケジュール (1)-2) メキシコ支部活動停止について 砂糖に課税するという政府方針について ILSI メキシコ支部名で反対を表明した。その行為は政治活動にあたり、ILSIの倫理規定に違反するため、本部よりメキシコ支部の活動停止が通達された。日本支部においても十分注意する必要がある。</p> <p>(1)-3) ILSI 本部長について Dr. Rhona Applebaum 会長が2015年12月31日で退任し Dr. Peter van Bladeren が2016年1月1日より2017年総会まで会長に就任する。</p> <p>(2) 支部総会での報告内容 2015年事業活動報告(案)、2016年事業活動計画(案)が提示され、次回理事会までに内容を検討し、意見を述べるよう要望した。</p>
-----	---

	<p>(3) 理事、監事改選 理事・監事再任者、退任希望者を提示した。メンバー構成を変更し官・学界のメンバーを産業界のメンバーより増加させるか同数になるよう選考を進めたい。</p> <p>(4) 第7回「栄養とエイジング」国際会議報告 国際会議レビュー（栄養研究部会）で会員から出された意見・要望が紹介された。次回の理事会にて意見交換を予定している。</p>
事務局	<p>ILSI Japan 平成28年度通常総会を下記のとおり開催します。 日時：平成28年2月17日（水）午前10時～ 場所：アーバンネット神田カンファレンス http://kanda-c.jp/access.html</p> <p>また、同日午後には平成27年度農林水産省委託事業「食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業のうち食品規格基準等調査」の報告会が予定されています。</p>